【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成18年11月16日(2006.11.16)

【公開番号】特開2001-109551(P2001-109551A)
【公開日】平成13年4月20日(2001.4.20)
【出願番号】特願平11-283430
【国際特許分類】
*Ｇ０６Ｆ　3/048　(2006.01)*
*Ｇ０６Ｆ　13/00　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　3/00　６５２Ａ
Ｇ０６Ｆ　13/00　３５３Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成18年10月3日(2006.10.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　情報処理機器及び周辺機器と通信可能なデータ処理装置であって、
ライセンス管理を行うライセンスサーバー機能を有する情報処理機器を特定する特定手段と、
前記特定手段によりライセンスサーバーを有する情報処理機器であると特定された情報処理機器を示す情報を識別可能に表示する表示手段と、
を備えることを特徴とするデータ処理装置。
【請求項２】　前記表示手段は、サーバー機能を有する情報処理機器の内で、ライセンスサーバー機能を有する情報処理機器を、特定のキャラクタ情報にて表示することを特徴とする請求項１に記載のデータ処理装置。
【請求項３】　前記ライセンスサーバー機能を有する情報処理機器の内、自機が属するライセンスサーバー機能を有する情報処理機器を判別する判別手段を更に備え、
前記表示手段は、前記判別手段により自機が属するライセンスサーバー機能を有する情報処理機器であると判別された情報処理機器を、前記特定のキャラクタ情報とは別のキャラクタ情報にて表示することを特徴とする請求項２に記載のデータ処理装置。
【請求項４】　前記各ライセンスサーバー機能を有する情報処理機器が所有するライセンスを利用しているクライアント側情報処理機器を、各ライセンスサーバー機能を有する情報処理機器毎に判別する判別手段を更に備え、
前記表示手段は、前記判別手段により判別された報処理機器それぞれのライセンスを利用しているライアント側情報処理機器のグループそれぞれを、別のキャラクタ情報にて表示することを特徴とする請求項２に記載のデータ処理装置。
【請求項５】　前記各ライセンスサーバー機能を有する情報処理機器それぞれのライセンスを利用しているクライアント側情報処理機器のグループそれぞれの中から、自機と同一のライセンスサーバー機能を有する情報処理機器を利用しているクライアント側情報処理機器のグループを判別する判別手段を更に備え、
前記表示手段は、前記判別手段に判別されたクライアント側情報処理機器のグループを、自機と同一のライセンスサーバー機能を有する情報処理機器を利用していることを示すキャラクタ情報にて表示することを特徴とする請求項４に記載のデータ処理装置。
【請求項６】　前記クライアント情報処理機器の任意のグループに対して行われるデー

タの配信処理は、配信データを、前記ライセンスサーバー機能を有する情報処理機器のキャラクタ情報上にドロップすることで行われることを特徴とする請求項４または５に記載のデータ処理装置。

【請求項７】　前記ライセンスサーバー機能を有する情報処理機器が自機であった場合、

前記表示手段は、自機を、ライセンスサーバー機能を有する情報処理機器を示すキャラクタ情報にて表示することを特徴とする請求項２乃至６のいずれか１項に記載のデータ処理装置。

【請求項８】　前記キャラクタ情報は、前記表示手段が表示する仮想システム構成表示画面上に表示される前記情報処理機器各々を示したアイコンであることを特徴とする請求項２乃至７のいずれか１項に記載のデータ処理装置。

【請求項９】　情報処理機器及び周辺機器と通信可能なデータ処理方法におけるデータ処理方法であって、

ライセンス管理を行うライセンスサーバー機能を有する情報処理機器を特定する特定手順と、

前記特定手順によりライセンスサーバーを有する情報処理機器であると特定された情報処理機器を示す情報を識別可能に表示する表示手順と、

を含むことを特徴とするデータ処理方法。

【請求項１０】　前記表示手順は、サーバー機能を有する情報処理機器の内で、ライセンスサーバー機能を有する情報処理機器を、特定のキャラクタ情報にて表示することを特徴とする請求項９に記載のデータ処理方法。

【請求項１１】　前記ライセンスサーバー機能を有する情報処理機器の内、自機が属するライセンスサーバー機能を有する情報処理機器を判別する判別手順を更に含み、

前記表示手順は、前記判別手順により自機が属するライセンスサーバー機能を有する情報処理機器であると判別された情報処理機器を、前記特定のキャラクタ情報とは別のキャラクタ情報にて表示することを特徴とする請求項１０に記載のデータ処理方法。

【請求項１２】　前記各ライセンスサーバー機能を有する情報処理機器が所有するライセンスを利用しているクライアント側情報処理機器を、各ライセンスサーバー機能を有する情報処理機器毎に判別する判別手順を更に含み、

前記表示手順は、前記判別手順により判別された報処理機器それぞれのライセンスを利用しているライアント側情報処理機器のグループそれぞれを、別のキャラクタ情報にて表示することを特徴とする請求項１０に記載のデータ処理方法。

【請求項１３】　前記各ライセンスサーバー機能を有する情報処理機器それぞれのライセンスを利用しているクライアント側情報処理機器のグループそれぞれの中から、自機と同一のライセンスサーバー機能を有する情報処理機器を利用しているクライアント側情報処理機器のグループを判別する判別手順を更に含み、

前記表示手順は、前記判別手順に判別されたクライアント側情報処理機器のグループを、自機と同一のライセンスサーバー機能を有する情報処理機器を利用していることを示すキャラクタ情報にて表示することを特徴とする請求項１２に記載のデータ処理方法。

【請求項１４】　前記クライアント情報処理機器の任意のグループに対して行われるデータの配信処理は、配信データを、前記ライセンスサーバー機能を有する情報処理機器のキャラクタ情報上にドロップすることで行われることを特徴とする請求項１２または１３に記載のデータ処理方法。

【請求項１５】　前記ライセンスサーバー機能を有する情報処理機器が自機であった場合、

前記表示手順は、自機を、ライセンスサーバー機能を有する情報処理機器を示すキャラクタ情報にて表示することを特徴とする請求項１０乃至１４のいずれか１項に記載のデータ処理方法。

【請求項１６】　前記キャラクタ情報は、前記表示手順が表示する仮想システム構成表示画面上に表示される前記情報処理機器各々を示したアイコンであることを特徴とする請

求項１０乃至１５のいずれか１項に記載のデータ処理方法。
【請求項１７】　請求項９乃至１６のいずれか１項に記載のデータ処理方法をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラムを記憶したコンピュータ読みとり可能な記録媒体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
【課題を解決するための手段】
上記の目的を達成するために、本発明は、情報処理機器及び周辺機器と通信可能なデータ処理装置であって、ライセンス管理を行うライセンスサーバー機能を有する情報処理機器を特定する特定手段と、前記特定手段によりライセンスサーバーを有する情報処理機器であると特定された情報処理機器を示す情報を識別可能に表示する表示手段と、を備えることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】削除

【補正の内容】
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２８
【補正方法】削除

【補正の内容】
【手続補正２０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３８
【補正方法】削除

【補正の内容】
【手続補正３０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４８
【補正方法】削除

【補正の内容】